

# 一般演題発表 3月14日(土)

## B会場

### B-1 13:35~14:29 【座長】水流聡子 大久野病院 顧問・東京大学 教授

No.	氏名	職種	所属機関名	演題名
B-1-1	加藤省吾	大学教員	東京大学大学院 工学系研究科	患者状態適応型パス(PCAPS)を用いたリハビリ介入プロセスの標準化 ー脳血管疾患リハの標準化の取り組みー
B-1-2	森屋功一	システムエンジニア	京セラコミュニケーション システム株式会社	PCAPSリハビリコンテンツを用いたリハビリ計画と実施の実際
B-1-3	黒木洋美	医師	飯塚病院	中枢性運動麻痺に対するリハプロセスの可視化 ~PCAPS(患者状態適応パス)を用いての検討
B-1-4	津嶋裕美	作業療法士	飯塚病院	患者状態適応型パス(PCAPS)を用いたリハ介入プロセスの標準化 ー脳血管疾患による片麻痺症例の食事動作ー
B-1-5	前田亮介	作業療法士	聖マリア病院	脳血管障害における基本動作臨床プロセスチャート作成の試み ~患者状態適応型パス(PCAPS)を用いた検討~
B-1-6	進藤晃	医師	大久野病院	PCAPS回復期医療支援システムの設計 (スタンドアロンPCAPSを用いた業務の形)

### B-2 14:30~15:24 【座長】木村圭佑 花の丘病院 リハビリテーション科地域連携室課長・理学療法士

No.	氏名	職種	所属機関名	演題名
B-2-1	石藤学	理学療法士	小松会病院	発症から7年の重度左被殻出血患者の経過と リハビリテーションの意味
B-2-2	川尻隆晴	理学療法士	定山溪病院	入院情報からみた慢性期脳血管障害患者の予後予測
B-2-3	渡邊康介	理学療法士	熱川温泉病院	右片麻痺を呈し、長期介入により歩行能力向上を認めた症例 ~チルトテーブル立位、腹臥位療法を用いて~
B-2-4	石井里実	理学療法士	城南中央病院	体幹腹部(深層部筋)への筋活動を促通後 起居動作に変化が生じた一症例について検討する
B-2-5	増永拓朗	理学療法士	わかくさ竜間 リハビリテーション病院	脳画像からの考察により歩行動作自立に至った頭部外傷の1症例
B-2-6	恵中裕美	理学療法士	東浦平成病院	脳血管障害片麻痺患者における下衣動作と立位バランス機能の 相関性について

### B-3 15:35~16:29 【座長】錦見俊雄 わかくさ竜間リハビリテーション病院 院長・医師

No.	氏名	職種	所属機関名	演題名
B-3-1	黒岩美樹	理学療法士	わかくさ竜間 リハビリテーション病院	慢性期片麻痺患者に対する動作訓練 ~筋緊張異常と動作指導に着目して~
B-3-2	森島歩	理学療法士	千里リハビリテーション病院	トイレ移乗が最小介助となり日常的なトイレ排泄を獲得した 重度脳梗塞患者の経験
B-3-3	金森宏	理学療法士	永生病院	ボツリヌス治療により足趾変形による疼痛の改善により歩行速度の 向上を認めた2症例
B-3-4	遠藤泰弘	作業療法士	きたじま田岡病院	「当院でのボツリヌス毒素治療の取り組み」 ~入院1週間での短期集中リハビリテーションを通して~
B-3-5	長谷部美由紀	作業療法士	博愛記念病院	電氣的筋肉刺激の即時効果と慢性期での適応について

**B-4 16:30~17:24 【座長】井村順治 恵信甲府病院 理学療法科長・理学療法士**

No.	氏名	職種	所属機関名	演題名
B-4-1	小林昂将	理学療法士	多摩川病院	高齢者の転倒要因を考える ～当院におけるインシデントの傾向から～
B-4-2	村口良介	理学療法士	博愛記念病院	当院通所施設利用者における転倒恐怖感と身体機能との関連
B-4-3	川畑大介	理学療法士	豊中平成病院	「足趾把持力と柔軟性に関する研究～健常成人による検討～」
B-4-4	菅田祐樹	理学療法士	安来第一病院	二次予防事業対象者の運動機能と生活空間のひろがりに着目して ～TUGとLSAの関連性を探る～
B-4-5	湊奈保	作業療法士	奈良東病院	長期入院高齢者の役割や楽しみのために～お料理会を通して～
B-4-6	江村俊平	言語聴覚士	永生病院	南多摩二次医療圏における高次脳機能障害支援普及事業の展開

**B-5 17:35~18:29 【座長】木下祐介 光風園病院 副院長・医師**

No.	氏名	職種	所属機関名	演題名
B-5-1	花城範行	理学療法士	宜野湾記念病院	見逃されていた拮抗失行様症状が慢性期においても ADLの阻害・心理的負担となっていた症例
B-5-2	市村大輔	理学療法士	多摩川病院	小脳からの運動機能と高次脳機能の信号は分かれて 投射されるのか？～小脳損傷例と視床損傷例による検討～
B-5-3	石川朝子	作業療法士	札幌西円山病院	80歳以上高齢者の注意機能 —標準注意検査法の結果から
B-5-4	内藤和也	作業療法士	恵信甲府病院	長期入院における生活動作の変化について
B-5-5	菅原光晴	作業療法士	ふじの温泉病院	着衣失行を有する認知症患者の着衣の誤りに対する臨床的検討
B-5-6	佐久間千恵	言語聴覚士	介護老人保健施設 ゆうゆうホーム	失語症を対象としたリハビリで使用するタブレット端末用 アプリケーションの開発と実際の使用感に関する報告

**C会場**

**C-1 13:35~14:29 【座長】山越高宏 苫小牧東病院 リーダー 言語聴覚士**

No.	氏名	職種	所属機関名	演題名
C-1-1	安齊香	言語聴覚士	南昌病院	チームアプローチにおける専門的知識共有の重要性について ～摂食嚥下障害患者1例を通じてみえたこと～
C-1-2	清水昭雄	栄養士	しげい病院	筋萎縮性側索硬化症患者に対するチームアプローチの重要性を 感じた一例
C-1-3	津江尚幸	理学療法士	山口平成病院	地域包括ケア病棟におけるリハスタッフの役割 ～リハビリ包括算定下での効率的な関わり方について～
C-1-4	小林弘幸	理学療法士	平成横浜病院	地域包括ケア病床における訓練時間以外の取り組み ～小集団起立動作訓練と目的を共有したセルフケアの導入～
C-1-5	神内梨絵	理学療法士	岸和田平成病院	地域包括ケア病棟での取り組み ～自主トレーニングに対する頻回な確認の声掛けの効果について～
C-1-6	小笠原尚和	理学療法士	世田谷記念病院	当院地域包括ケア病棟開設から6ヶ月間の実績と 今後についての考察

C-2 14:30~15:24 【座長】上田佳史 芳珠記念病院 リハビリテーション科部長・医師

No.	氏名	職種	所属機関名	演題名
C-2-1	藤井美有	理学療法士	世田谷記念病院	地域包括ケア病棟における集団リハビリテーションの取り組みとその効果
C-2-2	倉田俊介	作業療法士	堺温心会病院	当院における地域医療に対する現状調査
C-2-3	前田真宏	看護師	光風園病院	地域包括ケア病棟の円滑な運用のための取り組み
C-2-4	村瀬麻奈美	看護師	江藤病院	当院における地域包括ケア病床の現状と課題
C-2-5	飯島直孝	理学療法士	緑成会病院	当院における地域包括ケア病棟の現状と展望
C-2-6	高橋郁子	看護師	真木病院	高齢者の転倒予防への取り組み

C-3 15:35~16:29 【座長】富岡真光 松山リハビリテーション病院 リハビリテーション部理学療法科副主任

No.	氏名	職種	所属機関名	演題名
C-3-1	吉本陽二	理学療法士	奈良東病院	回復期リハ病棟入院患者の機能的自立度評価表 (FIM:Function Independence Measure)改善の要因について
C-3-2	草野謙二	理学療法士	原病院	大腿骨近位部骨折術後患者の屋内歩行自立獲得に必要な要素
C-3-3	富村義隆	理学療法士	王司病院	リハビリ以外の時間もベットから離れて過ごす～院内デイケアの取り組み～
C-3-4	小林美穂	理学療法士	多摩川病院	回復期リハビリテーション病棟における自宅復帰とFIMの関連性
C-3-5	柏木祥子	看護師	千里リハビリテーション病院	スタッフのチームアプローチに対する意識調査から見えた当院の特徴
C-3-6	榎本有陸	理学療法士	内田病院	当院回復期リハビリテーション病棟退院高齢者における自宅退院要因の検討

C-4 16:30~17:24 【座長】渡邊要一 永生会法人本部リハビリ統括管理部部長・理学療法士

No.	氏名	職種	所属機関名	演題名
C-4-1	廣田直也	理学療法士	岸和田平成病院	病棟内歩行自立に対する視覚二重課題下歩行の検討
C-4-2	桂珠美	理学療法士	総合リハビリテーションセンター・みどり病院	パーキンソン病により過度な腰曲り姿勢を呈した症例に対する姿勢改善アプローチ
C-4-3	林敦史	理学療法士	千里リハビリテーション病院	生活期に向けた重度脳卒中患者の回復期理学療法の取り組み
C-4-4	大西徹也	理学療法士	橋本病院	お元気ですか？ 一退院1年後の追跡調査一
C-4-5	大沢啓介	理学療法士	新戸塚病院	当院の歩行能力評価表の作成について
C-4-6	染谷英昭	理学療法士	霞ヶ関南病院	脳卒中片麻痺患者の立ち上がり動作介助量と上肢支持力の関連性について

C-5 17:35~18:29 【座長】工藤弘之 大久野病院 リハビリテーション部副部長 理学療法士

No.	氏名	職種	所属機関名	演題名
C-5-1	井上和之	理学療法士	橋本病院	退院先は患者・家族の希望に沿えているか？
C-5-2	西殿善由	理学療法士	千里リハビリテーション病院	足部の疼痛にて歩行能力が低下した患者に対しテーピングにより疼痛軽減に至った一症例
C-5-3	山崎秀平	理学療法士	浜寺中央病院	回復期リハビリテーション病棟で取り組んでいる「浜寺やる気体操」を改良して
C-5-4	吉田慎一郎	作業療法士	光風園病院	患者さんは自立していますか トイレ自立を見直して一
C-5-5	松本陽	作業療法士	緑成会病院	職業復帰を目指し算定上限を越えてリハビリテーションを施行した症例報告
C-5-6	二瓶太志	作業療法士	世田谷記念病院	診療報酬改訂と地域包括ケア病棟開設後の当院回復期リハビリテーション病棟の治療実績と役割の再考察

D会場

D-1 13:35~14:29 【座長】佐々木聡 聖ヶ丘病院 リハビリテーションセンター言語聴覚科長・言語聴覚士

No.	氏名	職種	所属機関名	演題名
D-1-1	橋本舞	言語聴覚士	ベルピアノ病院	訓練拒否があった全失語を合併した重度嚥下障害患者が経管離脱した一例
D-1-2	吉田操	言語聴覚士	豊中平成病院	脳血管障害後の言語障害および摂食嚥下機能障害を有する患者への1日の訓練時間増加による改善効果の検討
D-1-3	守屋淳一	言語聴覚士	世田谷記念病院	脳出血後の舌麻痺と閉口障害により重度摂食嚥下障害を呈した一症例
D-1-4	岩水太一	言語聴覚士	豊中平成病院	経口摂取困難な症例の摂食嚥下機能改善におけるFIMとの関連性
D-1-5	名古将太郎	言語聴覚士	千里リハビリテーション病院	頸椎骨棘により嚥下障害をきたした高齢の1症例
D-1-6	田中洋平	言語聴覚士	園田病院	誤嚥防止手術により経口摂取が可能となり在宅復帰した1症例

D-2 14:30~15:24 【座長】米澤厚士 国分中央病院・歯科医師

No.	氏名	職種	所属機関名	演題名
D-2-1	西村卓也	理学療法士	泉佐野優人会病院	経口摂取困難患者の特徴や転帰先などについての調査報告～自宅復帰した経口摂取患者との比較検討を通して～
D-2-2	佐藤尚美	言語聴覚士	山口平成病院	経管栄養・中心静脈栄養患者における嚥下障害グレードの訓練前後比較・要因別
D-2-3	磯野朗子	言語聴覚士	恵信甲府病院	摂食嚥下についての意識調査
D-2-4	池田友記	言語聴覚士	緑成会病院	集中した摂食嚥下リハビリテーションにより機能改善が認められた症例群について
D-2-5	伊澤高輝	言語聴覚士	博愛記念病院	握力と食形態の相関について
D-2-6	熊倉勇美	言語聴覚士	千里リハビリテーション病院	喉頭がんの既往歴を持つ失語、摂食嚥下障害の一症例

D-3 15:35～16:29 【座長】大橋知記 内田病院・言語聴覚士

No.	氏名	職種	所属機関名	演題名
D-3-1	鹿島千恵	言語聴覚士	阪和第二泉北病院	JCSⅡ群、超高齢の低栄養、嚥下障害患者に早期介入したことで、経口摂取が可能となった一症例
D-3-2	萩一矢	言語聴覚士	平成病院	嚥下機能障害を呈した患者に対する取り組み ～嚥下障害に対するリハビリの介入頻度による有用性～
D-3-3	花城茂樹	言語聴覚士	東浦平成病院	認知機能が嚥下機能に及ぼす影響
D-3-4	片岡沙笑	言語聴覚士	千里リハビリテーション病院	経鼻経管栄養から胃瘻造設を経て完全経口摂取となった 重度認知症の一例
D-3-5	喜井洋介	言語聴覚士	橋本病院	当院における嚥下障害患者の帰結に関する検討<第1報>
D-3-6	堺琴美	言語聴覚士	世田谷記念病院	積極的な嚥下リハビリテーションが嚥下機能と ADL改善に与える影響

D-4 16:30～17:24 【座長】佐藤延 丸山病院 リハビリテーション部医療保険部長・作業療法士

No.	氏名	職種	所属機関名	演題名
D-4-1	土井克馬	理学療法士	ヴィラ都筑	夜間不眠の利用者に対する取り組みによる 24時間の睡眠パターンの変化について
D-4-2	亀井恵未	作業療法士	介護老人福祉施設ヴィラ横浜	施設・病院間の個浴判定基準の違い ～個浴対応困難になってしまう理由～
D-4-3	戸田公恵	作業療法士	介護老人保健施設ヴィラ光陽	屈曲拘縮手の手掌内環境の改善 ～自作のハンドクッションを使用して～
D-4-4	齋藤裕樹	理学療法士	前田病院	「意味のある離床」について学んだ一症例
D-4-5	春日井翔子	理学療法士	介護老人福祉施設ケアホーム足立	6階建て各フロアAB20名体制の介護老人福祉施設における リハビリテーションおよび多職種連携について
D-4-6	橋本拓也	言語聴覚士	介護老人保健施設 伸寿苑	介護老人保健施設でのSTの視点 ～3食経口摂取へ向けた取り組みから～

D-5 17:35～18:29 【座長】永富慎之 湖東病院 リハビリテーション主任・理学療法士

No.	氏名	職種	所属機関名	演題名
D-5-1	古賀純一	理学療法士	介護老人福祉施設ヴィラ播磨	車椅子座位時の事故防止への取り組み —介護職員の知識技術の向上と特養でのリハビリ専門職の役割—
D-5-2	井上真一	言語聴覚士	介護老人保健施設 ケアホーム南淡路	「社会行動障害を抱える入所者に実施した 前頭葉賦活のための後出しジャンケン」
D-5-3	二見邦彦	作業療法士	介護老人福祉施設 藤香苑	特養での利用者様間の交流を活性化させる作業提供の取組み
D-5-4	浜中貢輔	理学療法士	博愛記念病院	要介護高齢者におけるICF stagingによる介護度別身体機能の比較検討
D-5-5	村田佳乃	作業療法士	北吉田診療所	グループホームでのリハビリテーション
D-5-6	永井宏明	理学療法士	介護老人保健施設 ふるさとの家	車椅子座位におけるシーティングとADL能力との関係性について

## E会場

E-1 13:35～14:29 【座長】福田綾子 松山リハビリテーション病院 リハビリテーション部作業療法科係長・作業療法士

No.	氏名	職種	所属機関名	演題名
E-1-1	森祥子	作業療法士	豊中平成病院	更衣動作が精神機能面に与える影響
E-1-2	瀬瀬功	作業療法士	橋本病院	当院での生活行為向上マネジメント普及への取り組み
E-1-3	中村洸貴	作業療法士	千里リハビリテーション病院	広範囲小脳梗塞後、劇的な社会復帰を果たした一症例
E-1-4	佐藤実来	看護師	世田谷記念病院	回復期病棟においてセラピストが夜勤業務に携わることによる職員の意識調査
E-1-5	香川武士	言語聴覚士	西宮回生病院	回復期病棟スタッフの摂食嚥下に関する意識の調査・連携強化を目指して
E-1-6	曾田淳子	看護師	鹿島病院	回復期リハビリテーション病棟における転倒の現状と課題

E-2 14:30～15:24 【座長】岡道生 花の丘病院 リハビリテーション科主任・作業療法士

No.	氏名	職種	所属機関名	演題名
E-2-1	志水俊介	作業療法士	弥刀中央病院	当院回復期リハビリテーション病棟における入院時訪問指導加算導入前後のリハスタッフの意識変化について
E-2-2	小原朋晃	作業療法士	練馬駅リハビリテーション病院	回復期退院後の継続した関わりにより、短期間での自立度向上を認めた一事例
E-2-3	大槻昌広	作業療法士	千里リハビリテーション病院	無動性無言症により自発性の低下した患者が一部介助下で食事自己摂取に至った一例
E-2-4	高木洋平	作業療法士	緑成会病院	回復期リハビリテーションにおける夜間のトイレ誘導による効果
E-2-5	片山大輔	作業療法士	ベルピアノ病院	CVA患者の麻痺側上肢・手機能の再獲得～麻痺側上肢のADL参加が定着した一例～
E-2-6	若村浩樹	作業療法士	芳珠記念病院	POCリハの介入により自ら身辺動作が可能となり元の施設へ退院可能となった事例

E-3 15:35～16:29 【座長】黒木博和 国分中央病院 理学療法士

No.	氏名	職種	所属機関名	演題名
E-3-1	伊藤あさみ	理学療法士	光風園病院	地域包括ケア病棟取得のための実績期間から見てきたこと
E-3-2	佐藤翔	理学療法士	博愛記念病院	スタティックストレッチングの実施による褥瘡予防効果について
E-3-3	大谷由美奈	理学療法士	永生病院	介護療養病棟で日常生活動作能力が維持できた症例における考察
E-3-4	大東康宏	理学療法士	わかさ竜間リハビリテーション病院	医療療養病棟における褥瘡治癒のための理学療法の関わり
E-3-5	宮内見輔	作業療法士	介護老人福祉施設ヴィラ桜ヶ丘	当施設のショートステイを利用したご利用者様及びご家族様のニーズ調査
E-3-6	岡師明	理学療法士	緑成会病院	胼胝・鶏眼患者に特有な歩行の一考察

E-4 16:30~17:24 【座長】堤英雄 甲聖会記念病院 副院長・医師

No.	氏名	職種	所属機関名	演題名
E-4-1	小川宏一郎	理学療法士	ヴィラ南本宿	膀胱直腸障害の症状の一つである便秘へのアプローチ
E-4-2	松村竜誠	理学療法士	浜寺中央病院	寝たきり患者の排尿障害に対する リハビリテーション的アプローチの検討
E-4-3	森田佳祐	理学療法士	多摩川病院	脳梗塞発症後に排尿コントロール不良を呈した一症例
E-4-4	大脇毅	理学療法士	西宮回生病院	尿失禁患者に対する骨盤底筋訓練の効果 尿漏れ頻度に着目して
E-4-5	中山千鶴	理学療法士	弥刀中央病院	入院患者様の便秘症に対するリハビリアプローチ (運動・マッサージ)の効果検証
E-4-6	宗和弘樹	理学療法士	北淡路病院	慢性期病棟内高齢患者様の便秘に対する 温熱・徒手・体位的アプローチの効用について

E-5 17:35~18:29 【座長】三浦亜純 多摩川病院 リハビリテーション科係長・作業療法士

No.	氏名	職種	所属機関名	演題名
E-5-1	三輪早智子	理学療法士	東浦平成病院	排便における腹部マッサージの効果検証 ～排便管理表の作成と取り組みを通して～
E-5-2	石川琢麻	理学療法士	芳珠記念病院	当院の便秘・肛門外来における理学療法士の介入経験 一体幹機能へのアプローチを中心に
E-5-3	藤井武	理学療法士	緑成会病院	自己排尿機能の獲得への試み 一寝具の変更が及ぼす影響一
E-5-4	植田裕子	理学療法士	平成記念病院	排便障害に対するリハビリテーション ～徒手的アプローチによる排便コントロールの改善～
E-5-5	兼光信也	理学療法士	豊中平成病院	積極的なトイレ誘導によるADLと認知機能の変化
E-5-6	栗飯原友美	作業療法士	江藤病院	排尿障害に対するチームアプローチ 一尿失禁タイプ別リハビリテーションを試みて一

F会場

F-1 13:35~14:29 【座長】熊谷頼佳 京浜病院 理事長、院長・医師

No.	氏名	職種	所属機関名	演題名
F-1-1	久保祐一郎	作業療法士	山口平成病院	身だしなみが認知症予防に与える影響 ～化粧活動を通じた取り組み～
F-1-2	椎名拓	作業療法士	芳珠記念病院	環境変化により不穏行動が出現したが、 写真ボードによる介入が穏やかに生活を送る一助となった事例
F-1-3	山勢健太郎	作業療法士	平成横浜病院	作業療法のトップダウンアプローチ ～意味のある作業～
F-1-4	殿井紀子	作業療法士	大内病院	精神科作業療法および認知症リハビリテーションを行なって
F-1-5	高山汐里	言語聴覚士	定山溪病院	「一緒に長生きしようね」 一小グループ訓練によって意欲・認知面が向上した一例一
F-1-6	金沢歩美	臨床心理士	福祉村病院	福祉村病院における認知症リハビリプロジェクト 『音楽』の効果について

F-2 14:30~15:24 【座長】浦信行 札幌西円山病院 院長・医師

No.	氏名	職種	所属機関名	演題名
F-2-1	甲斐学	理学療法士	しばた医院	グループホーム利用者の外来リハビリ対応について ～ 認知症における理学療法介入の一考察 ～
F-2-2	磯貝衣里奈	理学療法士	介護老人福祉施設ヴィラ泉	認知症利用者への取り組み～足こぎ車いすを用いて～
F-2-3	堀井義隆	理学療法士	多摩川病院	デイケアにおける認知機能向上を目的とした 集団訓練導入の効果について
F-2-4	室木美和子	理学療法士	初富保健病院	筋力強化訓練と認知機能の関連と歩行速度への影響について
F-2-5	外園実	理学療法士	京浜病院	当院における認知症患者に対するチームアプローチの紹介
F-2-6	朴成輝	理学療法士	平成記念病院	「積極的離床・個別的な車椅子シーティング・ 上肢活動が身体機能・認知機能面に与えた一症例」

F-3 15:35~16:29 【座長】沼田一成 奈良東病院 リハビリテーション科課長・作業療法士

No.	氏名	職種	所属機関名	演題名
F-3-1	最上絵理子	看護師	大内病院	認知症リハビリテーションを実施している患者への看護師の関わり
F-3-2	今井崇弘	作業療法士	山口平成病院	改訂長谷川式簡易知能評価スケールを用いた認知機能と 内服薬の自己管理能力の関係についての調査研究
F-3-3	村上唯	作業療法士	大内病院	男性認知症患者にやる気をおこさせた調理プログラム
F-3-4	中川賢	言語聴覚士	浜寺中央病院	認知機能が食事に及ぼす影響について
F-3-5	久保幸子	作業療法士	南淡路病院	重度認知症高齢者に対する活動の主観的満足度について ～ 改変ARS評価を用いて～
F-3-6	逸見裕香	作業療法士	泉佐野優人会病院	回復期リハビリ病棟における集団活動の導入効果について

F-4 16:30~17:24 【座長】石川朋子 志村大宮病院 師長・看護師

No.	氏名	職種	所属機関名	演題名
F-4-1	小早川真澄	理学療法士	熱川温泉病院	パーキンソン患者に運動浴を実施し、筋固縮改善により 水中歩行の獲得をした一症例
F-4-2	晝間さおり	理学療法士	新戸塚病院	起立性低血圧に対する運動療法～寝たきりから立位獲得へ～
F-4-3	小芝健	理学療法士	霞ヶ関南病院	吸引後のアプローチにより呼吸状態の改善がみられた一症例
F-4-4	小谷由美	看護師	泉佐野優人会病院	ADLの状況に応じた生活リハビリ導入 ～ チーム活動による生活動作の定着化を図る、ADL表を作成して～
F-4-5	善山勝哲	看護師	弥刀中央病院	疼痛を訴える患者様へのチームアプローチ
F-4-6	藤野明日香	看護師	千里リハビリテーション病院	薬剤カート導入による効果



F-5 17:35~18:20 【座長】合田文則 千里リハビリテーション病院 顧問  
香川大学医学部附属病院腫瘍センター センター長・医師

No.	氏名	職種	所属機関名	演題名
F-5-1	白波瀬元道	言語聴覚士	永生病院	水分とろみ院内統一基準作成の取り組み
F-5-2	日野恵	言語聴覚士	聖ヶ丘病院	言語聴覚士による検食の取り組み
F-5-3	尾立朋子	医師	橋本病院	高たんぱく質・BCAA含有牛乳の摂取によるリハビリテーション効果
F-5-4	中村達也	管理栄養士	西日本病院	他職種と連携を取り褥瘡が改善した一例
F-5-5	川村祐	管理栄養士	千里リハビリテーション病院	入院患者の栄養剤の併用による栄養管理とサルコペニアの改善について

# 一般演題発表 3月15日(日)

## B会場

B-6 9:20～10:23 【座長】宮本美恵子 橋本病院 副院長・看護師

No.	氏名	職種	所属機関名	演題名
B-6-1	中津大悟	建築設計	株式会社 共同建築設計事務所	慢性期リハビリテーションにシームレスにつながる 急性期リハビリ空間のあり方:新設脳卒中センターを題材に
B-6-2	菊地昭人	作業療法士	国分中央病院	～みんなできばいやんせ～ 集団活動を通しての自分の居場所
B-6-3	鈴木慶治	建築設計	株式会社 共同建築設計事務所	都会における高齢慢性期患者を支える医療福祉の施設づくり —宮地病院から本山リハ病院までの建築を通して
B-6-4	鈴木慶治	建築設計	株式会社 共同建築設計事務所	高齢者居住施設におけるコミュニティのありかた ～2つの事例を通して
B-6-5	長岡良恵	ソーシャルワーカー	光風園病院	回復期リハ病棟における患者・家族の心境の変化について (患者・家族の抱える不安項目について)
B-6-6	阿部愛	ソーシャルワーカー	橋本病院	家族関係と在宅復帰
B-6-7	中野寛子	ソーシャルワーカー	千里リハビリテーション病院	重症度の高い若年者の在宅復帰

B-7 10:35～11:29 【座長】木下和代 橋本病院 ユニット長・看護師

No.	氏名	職種	所属機関名	演題名
B-7-1	仁木一真	理学療法士	浜寺中央病院	回復期リハビリテーション病棟における臥床時間が ADLの改善度に及ぼす影響
B-7-2	後藤泉美	理学療法士	富家千葉病院	自宅復帰困難と思えたが、チームアプローチにより ADLが向上された症例を経験して
B-7-3	樋口明伸	理学療法士	世田谷記念病院	世田谷記念病院回復期病棟における転倒転落ミーティングの成果
B-7-4	新開知子	理学療法士	千里リハビリテーション病院	要介助患者が自宅復帰に至る要因の検討
B-7-5	猪狩浩	理学療法士	内田病院	大腿骨頸部骨折パス患者の自宅復帰に関する要因について
B-7-6	西林孝治	理学療法士	岸和田平成病院	COPM実施による現状認識の数値化が自己達成感に及ぼす影響

B-8 11:30～12:15 【座長】富家隆樹 富家病院 理事長・医師

No.	氏名	職種	所属機関名	演題名
B-8-1	藤井将洋	理学療法士	京都民医連第二中央病院	希望により添いQOLを求めて～若年脳腫瘍事例の進行期から 終末期までの外来および訪問リハでの関わり～
B-8-2	松崎敬代	看護師	重井医学研究所附属病院	重度合併症を繰り返した高齢患者の在宅復帰支援 ～多職種と連携し在宅復帰が実現できた一例～
B-8-3	山崎悟	作業療法士	出水郡医師会立第二病院	ALS患者の頻回な訴えの軽減に取り組んだ事例
B-8-4	木村達	作業療法士	鶴巻温泉病院	外出希望を実現した患者の実施前後における Quality Of Lifeの変化
B-8-5	川崎直道	言語聴覚士	北斗わかば病院	事前意思確認と異なり人工呼吸器装着となったALS患者との STとしての関わりについて

B-9 14:55～15:49 【座長】谷場剛 千里リハビリテーション病院 病棟主任・准看護師

No.	氏名	職種	所属機関名	演題名
B-9-1	井口将一	看護師	平成病院	在宅環境へ近づけた生活環境の提供 ～在宅退院を見据えた介入方法統一～
B-9-2	西田好克	理学療法士	芳珠記念病院	地域包括ケア病棟における当院の取り組みについて
B-9-3	田形寛治	看護師	東浦平成病院	回復期リハビリテーション病棟における部屋食実施状況 ～食堂ホールでの食事摂取を目指して～
B-9-4	天本有紀	ソーシャルワーカー	千里リハビリテーション病院	退院決定日の早期化
B-9-5	加持佐夏	作業療法士	世田谷記念病院	回復期病棟に従事する専門職における障害受容という 用語の使い方の違い
B-9-6	井上圭子	薬剤師	千里リハビリテーション病院	インスリンから内服薬への切替えが可能になった 症例についての検討

B-10 15:50～16:35 【座長】伊藤功 霞ヶ関南病院 病院長・医師

No.	氏名	職種	所属機関名	演題名
B-10-1	荒尾雅文	理学療法士	永生病院	障害者の幸福度・5年後の幸福度について
B-10-2	中島翔太	理学療法士	緑成会整育園	座位保持装置付き車椅子の新規作製により良好な座位姿勢が 可能となった症例
B-10-3	伊藤啓史	作業療法士	緑成会整育園	不随意的な筋緊張がある重症心身障害者への食事に対して、 摂食台の効果についての報告
B-10-4	小室雄志	作業療法士	大内病院	アルコールにより認知機能が低下した デイケア利用者への地域でのかかわり
B-10-5	古御門幸奈	作業療法士	大内病院	対象者のところに寄り添うリハビリテーションを目指して —「こころの天気」描画法 記入用紙からの理解—

C会場

C-6 9:20～10:23 【座長】藤田啓子 富家病院 師長・看護師

No.	氏名	職種	所属機関名	演題名
C-6-1	青木麻依	作業療法士	介護老人福祉施設ヴィラ神奈川	施設入所者の便秘に対する腹部マッサージ・運動の効果
C-6-2	木下裕基	作業療法士	介護老人福祉施設ヴィラ町田	介護老人福祉施設における認知症利用者に対する 排泄リハビリテーション-頻尿利用者への介入効果の検討-
C-6-3	泉谷佑美	作業療法士	泉佐野優人会病院	回復期リハビリテーション病棟における 定時の排泄動作練習による効果の検証
C-6-4	馬島範彦	作業療法士	堺温心会病院	ポータブルトイレ利用者現状調査 移動能力と排尿状況からの考察
C-6-5	木村茂	言語聴覚士	青梅三慶病院	高次脳機能障害を発症した独居男性の退院支援 ～本人らしさを取り戻すまでの軌跡～
C-6-6	竹村裕子	看護師	緑成会病院	医療依存度が高い患者の在宅復帰を目指しての支援 ～在宅療養を継続する要因～
C-6-7	小山さおり	介護福祉士	千里リハビリテーション病院	外出願望と脱抑制の強い高次脳機能障害患者へのアプローチ

C-7 10:30~11:15 【座長】安齋登紀子 総泉病院 リハビリテーション部主任・理学療法士

No.	氏名	職種	所属機関名	演題名
C-7-1	仲村将一	作業療法士	ケアホーム横浜	当施設における通所リハビリテーションの取り組み ～他職種と協働リハビリテーションを模索して～
C-7-2	三宅智久	作業療法士	宮地病院	通所リハビリテーションの利用で「参加」「活動」が改善した症例
C-7-3	森加代子	介護福祉士	橋本病院	何ができよんな？ ～一緒にやらんな！全員参加を目指して！！～
C-7-4	深見友一	作業療法士	国分中央病院	在宅生活をより良くする為に訪問リハが出来ること ～やっぱり家っていいなあ～
C-7-5	藤本沙織	作業療法士	奈良春日病院	社会への参加・意思の選択を重視した関わりが 心身機能向上につながった一例

C-8 11:15~12:18 【座長】梅崎亜希子 光風園病院 看護部長・看護師

No.	氏名	職種	所属機関名	演題名
C-8-1	中田卓人	理学療法士	平成リハビリテーション 専門学校	臨床実習におけるリハ学生の慢性期リハ経験
C-8-2	苫米地洋子	作業療法士	大久野病院	リハビリテーションスタッフにおける吸引の現状調査と フォローアップ講習の取り組み
C-8-3	西林賢裕	作業療法士	平成リハビリテーション専門学校	慢性期リハビリテーションに対する意識調査 —学生と現職者における意識の相違の検討—
C-8-4	白川卓	言語聴覚士	橋本病院	昼礼をなくそう
C-8-5	中野美穂子	看護師	永生病院	回復期リハビリテーション病棟における教育体制の充実 ～勉強会参加率向上のための取り組み～
C-8-6	池田吉成	事務職	千里リハビリテーション病院	論理的思考研修によるスキルアップと業務改善
C-8-7	浅野裕美子	事務職	橋本病院	院外研修への参加状況に関する調査

C-9 14:55~15:49 【座長】有馬陽一 新京浜病院 院長・医師

No.	氏名	職種	所属機関名	演題名
C-9-1	富田竜太	理学療法士	弥刀中央病院	インシデント・アクシデントに対するポスター掲示による啓発の検討
C-9-2	鮫島亮子	作業療法士	加治木温泉病院	当院における福祉用具導入の現状と課題
C-9-3	杉谷美絵	介護福祉士	千里リハビリテーション病院	転倒転落事故対策の評価と今後の課題
C-9-4	森香代子	看護師	橋本病院	デイサービスにおける施設環境づくり～認知症高齢者が落ち着く 環境、また、活動を促す環境の工夫について～
C-9-5	小崎幸子	介護福祉士	内田病院	はじめよう！5S新習慣 ～5S活動の定着を目指して～
C-9-6	忽那裕樹	ランドスケープ デザイナー	株式会社E-DESIGN	医療環境からまちづくりへ

C-10 15:50~16:44 【座長】池田吉成 橋本病院 事務長・事務職

No.	氏名	職種	所属機関名	演題名
C-10-1	三浦研	教員	大阪市立大学 大学院 生活科学研究科	入院生活全体をリハビリと位置づけた 回復期リハビリテーション病棟における患者の活動実態
C-10-2	本部正大	病院建設 コンサルタント	株式会社プラスPM 取締役	病院建設のコストダウン
C-10-3	熊倉周平	作業療法士	定山溪病院	当院作業療法士が行なっている入院患者に対する 機器の工夫と今後の課題について
C-10-4	田中健次	放射線技師	橋本病院	VF検査における散乱線被曝低減への取り組み
C-10-5	恩庄美樹	介護福祉士	千里リハビリテーション病院	抑制廃止委員会からの活動報告とデータ分析
C-10-6	村本美乃里	看護師	千里リハビリテーション病院	脳卒中地域連携診療計画適応患者の病原体検出状況の年次比較

D会場

D-6 9:20~10:23 【座長】池村健 博愛記念病院 リハビリテーションセンター部長・理学療法士

No.	氏名	職種	所属機関名	演題名
D-6-1	三谷有司	理学療法士	札幌西円山病院	医療・介護関連肺炎(NHCAP)における活動面から見た予防的観点
D-6-2	長田好広	理学療法士	大久野病院	COPD急性増悪時に対する当院NPPV治療結果
D-6-3	佐々木康介	理学療法士	尾鍋外科病院	300日に及ぶ長期の人工呼吸器管理から離脱可能となった1例
D-6-4	田中一	理学療法士	鹿島病院	人工呼吸器装着患者の自宅外出に向けた取り組み 実現できなかった一例を通して
D-6-5	松野佑城	理学療法士	東浦平成病院	車いす座位の足底位置が呼吸状態に与える影響
D-6-6	桑子絢子	理学療法士	永生病院	重度高位頸損患者の呼吸管理～広範左無気肺の改善～
D-6-7	中嶋典子	作業療法士	東浦平成病院	ストレッチポールでの運動が呼吸機能に及ぼす影響

D-7 10:30~11:24 【座長】富張修平 富家病院 リハビリテーション室主任・理学療法士

No.	氏名	職種	所属機関名	演題名
D-7-1	齋藤優太	理学療法士	千葉南病院	早期退院を目指したケアプランニングの提案
D-7-2	吉岡治	理学療法士	園田病院	家族と協働により、自宅での入浴が可能となった一症例
D-7-3	根岸郁	理学療法士	富家病院	「家の中は歩いて移動が、楽なんです。」 一車椅子生活設定から見守り歩行を獲得した症例ー
D-7-4	星本諭	理学療法士	永生病院	要介護高齢者における訪問リハビリテーションの 長期間利用に関する要因の検討
D-7-5	中田圭亮	理学療法士	千里リハビリテーション病院	小脳出血を呈し1年が経過した若年患者に対する 訪問リハビリテーションの経験
D-7-6	齋藤理沙	作業療法士	福井リハビリテーション病院	重度障害者の実用的な緊急連絡方法の取り組み ータブレット端末を使用してー

## D-8 11:25~12:19 【座長】関川竜生 富家病院 デイケアセンター室長・理学療法士

No.	氏名	職種	所属機関名	演題名
D-8-1	竹内志織	理学療法士	福井リハビリテーション病院	リハビリ実施時と自宅における歩行能力の比較
D-8-2	小滝治美	理学療法士	初富保健病院	当院における通所リハビリテーション利用前の状況
D-8-3	宇田仁志	理学療法士	橋本病院	通所リハ利用者の外出状況と関連因子
D-8-4	田中嵩樹	理学療法士	岸和田平成病院	足部環境が歩行機能に与える影響の検討
D-8-5	片桐遼也	理学療法士	湖東病院	要支援者における骨盤傾斜角度と運動機能の関係性
D-8-6	河村和也	作業療法士	稲次整形外科病院	通所リハビリテーションにおける自主訓練による 上肢機能に対する取り組み～STEFを用いて～

## D-9 14:55~15:49 【座長】池袋英樹 国分中央病院・作業療法士

No.	氏名	職種	所属機関名	演題名
D-9-1	高木遼	理学療法士	博愛記念病院	視覚情報伝達における反対色の機能的利用
D-9-2	坂口祐仁	理学療法士	平成病院	生活期における転倒と環境・介助の相違について
D-9-3	寺本一平	理学療法士	平成リハビリテーション 専門学校	慢性期病床における日常生活活動評価法の開発
D-9-4	泉谷貴之	理学療法士	横浜田園都市病院	当院での慢性期リハビリの取り組みについて
D-9-5	柳本麻里	作業療法士	博愛記念病院	当院地域包括ケア病棟での Point of Living Rehabilitationの取り組み
D-9-6	中岡祐浩	作業療法士	千里リハビリテーション病院	楽観的な考えを持つ患者へのアプローチ

## D-10 15:50~16:44 【座長】岡部知昭 霞ヶ関南病院 ホスピタルケア部副部長・理学療法士

No.	氏名	職種	所属機関名	演題名
D-10-1	臼杵美菜	言語聴覚士	霞ヶ関南病院	当院の生活期における嚥下造影検査の活用
D-10-2	一場久	柔道整復師	新所沢清和病院	認知症患者様に対するペダリング訓練効果についての考察
D-10-3	中井貴大	理学療法士	花の丘病院	生活期リハ経験の有無による理学療法士間の短下肢装具に対する 認識の検討
D-10-4	石濱裕規	理学療法士	永生病院	南多摩地域リハビリテーション支援センターの活動変遷にみる 地域リハビリテーション支援のあり方
D-10-5	山本亮	理学療法士	千里リハビリテーション病院	セラピストが紹介元病院を訪問して地域連携を ～よりスピーディーに、より専門的に、より具体的に～
D-10-6	菱輪かおり	作業療法士	世田谷記念病院	「デイサービス・デイケア実態調査報告」 ～当院周辺区内の事業所選定ツール作成に関する第一報～

## E会場

E-6 9:20~10:23 【座長】横山司 光風園病院 リハビリテーション部部長・理学療法士

No.	氏名	職種	所属機関名	演題名
E-6-1	澤向祐貴	理学療法士	平成横浜病院	人工股関節全置換術(以下THA)後の転倒恐怖感の経時的変化について～MFESを用いて～
E-6-2	内田拓也	理学療法士	江藤病院	腰痛患者への膝窩アプローチ ～腰痛症に対する新たな視点～
E-6-3	中村裕樹	理学療法士	八反丸病院	療法士に求められる分かり易い運動指導方法論に関する研究
E-6-4	岡田直也	理学療法士	東浦平成病院	足部へのテーピングがバランス機能に与える影響～内側縦アーチと横アーチに着目して～
E-6-5	加藤渉	理学療法士	世田谷記念病院	当院回復期病棟における大腿骨頸部骨折患者の腎機能と運動機能の関係性
E-6-6	大前賢史	理学療法士	永井病院	運動器障害を伴う地域在住高齢者の移動能力と生活機能自立度に関する検討
E-6-7	定桂大	作業療法士	北淡路病院	当院介護職員における腰痛調査及び対策の検討～徒手的ストレッチとセルフストレッチでの比較～

E-7 10:35~11:15 【座長】田村大輔 多摩川病院 事務長・理学療法士

No.	氏名	職種	所属機関名	演題名
E-7-1	梅木仁美	理学療法士	倉敷スイートホスピタル	当院における高齢者の栄養状態と動作能力の関係
E-7-2	渡辺聖之	理学療法士	あいちリハビリテーション病院	受動歩行をモデルとした歩行支援機の臨床応用に関する試み
E-7-3	青木将剛	作業療法士	竹口病院	慢性期からの身体機能変化と日常生活動作の獲得ー微小重力環境によるポジショニングの効果ー
E-7-4	渡邊翠	言語聴覚士	札幌西円山病院	在宅復帰へ向けた症例との意思疎通とその重要性
E-7-5	松野加奈	言語聴覚士	原病院	廃用症候群が進んだパーキンソン病の一例

E-8 11:15~12:18 【座長】増田知子 千里リハビリテーション病院 チーフ・理学療法士

No.	氏名	職種	所属機関名	演題名
E-8-1	原侑希	理学療法士	秋津鴻池病院	装具療法による歩行獲得が他者への発言に変化を与えた事例を経験して-demandの重要性-
E-8-2	遠藤祐紀	理学療法士	東苗穂病院	ロボットスーツHAL使用により身体機能に変化のあった維持期神経難病患者1例 報告と今後の課題
E-8-3	山崎博喜	理学療法士	原病院	端座位側方移動動作時における重心動揺の違いが体幹筋活動に及ぼす影響
E-8-4	湯浅雅史	理学療法士	博愛記念病院	ギランバレー症候群に対し、ロボットスーツHAL?福祉用を導入したー報告
E-8-5	岩澤尚人	理学療法士	世田谷記念病院	回復期脳卒中片麻痺患者における装具療法の現状と予測因子の検討～長下肢装具作製者を対象にした検討～
E-8-6	山崎博喜	理学療法士	原病院	表面筋電図を用いた評価の定量化がセラピストの臨床思考に与える有用性ー1症例を通してー
E-8-7	茶木知子	理学療法士	泉佐野優人会病院	慢性期患者への免荷式リフト導入効果の検証

E-9 14:55～15:49 【座長】吉田豊 奈良東病院 MSW次長・MSW

No.	氏名	職種	所属機関名	演題名
E-9-1	山本敏幸	理学療法士	福井リハビリテーション病院	当院退院患者の在宅復帰に必要な要因について
E-9-2	松下太一	理学療法士	北斗わかば病院	術後廃用症候群により介助量増加を認めたが再度自宅で暮らせるようになった一症例
E-9-3	山下輝一	理学療法士	信愛病院	当院における退院前訪問の追跡調査
E-9-4	田中悦子	作業療法士	光風園病院	家屋評価の質の向上に向けた取り組み
E-9-5	工藤麻那	作業療法士	霞ヶ関南病院	壮年期の方への役割再獲得に向けた在宅支援
E-9-6	永井信洋	作業療法士	わかくさ竜間リハビリテーション病院	低酸素脳症後に高次脳機能障害を呈した症例への在宅支援

E-10 15:50～16:44 【座長】井出大 南多摩病院 リハビリテーション科科長・理学療法士

No.	氏名	職種	所属機関名	演題名
E-10-1	小出弘寿	作業療法士	北斗わかば病院	重度障害患者に対する在宅復帰支援の取り組み～家族介護力向上に向けてのチームアプローチ～
E-10-2	牟田博行	作業療法士	わかくさ竜間リハビリテーション病院	医療療養病棟からの在宅復帰における疾患別リハビリテーションに関する報告
E-10-3	松本和子	看護師	橋本病院	病棟転換による患者層の差異
E-10-4	角谷亜季	理学療法士	甲聖会記念病院	在宅復帰ができた症例の経験から～慢性期病院だからこそ諦めないことの大切さ～
E-10-5	仲條由貴子	介護支援専門員	霞ヶ関南病院	入退院時における医療機関とケアマネジャーの連携と情報提供のあり方について～第2報～
E-10-6	伊藤正一	社会福祉士	大久野病院	在宅生活に向けた支援において欠落していた視点～在宅退院一年後のカンファレンスに参加して～

F会場

F-6 9:20～10:23 【座長】木内千世 鳴門山上病院 リハビリテーション統括副士長・作業療法士

No.	氏名	職種	所属機関名	演題名
F-6-1	太田健一	作業療法士	南小樽病院	当院における園芸療法の試み
F-6-2	松本愛	園芸療法士	豊中平成病院	園芸療法士0からの挑戦 ～8年の歩み～
F-6-3	浦田雅子	園芸療法士	千里リハビリテーション病院	屋外環境での園芸活動がもたらす療法的効果
F-6-4	戸田かおり	音楽療法士	初富保健病院	ピアノ教師だったA氏の個人音楽療法～ピアノ演奏が療養生活に定着するまで～
F-6-5	井上貴絵	音楽療法士	倉敷スイートホスピタル	当法人における音楽療法の取り組み
F-6-6	那須貴之	音楽療法士、認定心理士	坂本病院/関西リハビリテーション病院	リハビリテーションにおける音楽療法の効果を考察する～FIM評価を通して～
F-6-7	神田直子	アロマセラピスト	千里リハビリテーション病院	回復期リハビリテーション病院でのアロマセラピー効果



F-7 10:35~11:29 【座長】川谷清美 鹿島病院 看護部長代理・看護師

No.	氏名	職種	所属機関名	演題名
F-7-1	三瀬誠	介護支援専門員	特別養護老人ホーム とよはま荘	クライアントのあるべき姿の再獲得を目的としたケアマネジメント
F-7-2	守谷尚記	介護職	橋本病院	日常的な麻痺側上肢の使用のためのCWの取り組み
F-7-3	木下香代	介護福祉士	千里リハビリテーション病院	更衣練習から気づいたリハビリテーション介護のあり方
F-7-4	高橋はるみ	介護福祉士	永生病院	認知症患者にユマチュードケアを行った一症例
F-7-5	島谷浩幸	歯科医師	堺温心会病院	病棟における歯科医師・歯科衛生士による口腔ケアと カンジダ簡易培養検査の重要性
F-7-6	高橋寿子	介護福祉士	特別養護老人ホーム 川之江荘	あなたに届けたい好きな物を・・・妻の願いより ～口腔ケアにより誤嚥性肺炎を予防しよう～

F-8 11:30~12:15 【座長】糸田昌隆 わかくさ竜間リハビリテーション病院 診療部長・歯科医師

No.	氏名	職種	所属機関名	演題名
F-8-1	高荷進夫	言語聴覚士	秩父生協病院	多職種連携によるVE導入の取り組み
F-8-2	加藤のみ子	看護師	湘南長寿園病院	長期入院高齢患者に対する摂食・嚥下リハビリの有用性について
F-8-3	磯野理	医師	京都民医連第二中央病院	食べてはいけないけれど我慢できない 一脱抑制型嚥下障害を 伴う四肢麻痺の目立たない仮性球麻痺の2症例一
F-8-4	佐藤裕太	看護師	世田谷記念病院	全職種参加型の摂食嚥下ミーティングから繋がる患者とスタッフの 可能性
F-8-5	貴島真佐子	歯科医師	わかくさ竜間 リハビリテーション病院	回復期リハビリテーション病棟入院患者における 摂食機能療法実施による栄養状態評価についての検討

F-9 14:55~15:49 【座長】小川輝史 定山溪病院 リハビリテーション部作業療法科科长補佐

No.	氏名	職種	所属機関名	演題名
F-9-1	福村裕幸	理学療法士	国分中央病院	当院における転倒要因の検討と対策について ～慢性期の特徴を考える～
F-9-2	斐東海	理学療法士	緑成会病院	当院における看護部とリハビリ科の患者に対する 考え方の差異についての報告
F-9-3	細川雄平	作業療法士	平成病院	当院における安全な療養生活に向けての取り組み ～転倒・転落予防に向けて～
F-9-4	沖田和代	作業療法士	北九州安部山公園病院	日常生活自立度改善に向けた取り組み ～日常生活機能評価に着目して～
F-9-5	住友泰三	作業療法士	きたじま田岡病院	じいちゃん、おかえり～家族の思いを形にするために、 チームとしての取り組み～
F-9-6	平野利一	作業療法士	千里リハビリテーション病院	介助情報共有場面におけるビデオ活用の有効性について

## F-10 15:50～16:44 【座長】新崎恵 千里リハビリテーション病院 病棟主任・看護師

No.	氏名	職種	所属機関名	演題名
F-10-1	森本信正	理学療法士	淀川暖気の苑	足置き台の使用率向上する為には
F-10-2	青木淳子	理学療法士	小松会病院	「もう一度コーヒーが飲みたい」患者様のニーズに寄り添ったチームアプローチ
F-10-3	齊藤幸江	介護支援専門員	橋本病院	多職種協働を目指した、医療と介護の連携への取り組み
F-10-4	宮本朋則	理学療法士	園田病院	当院の褥瘡委員会における理学療法士として ～新たな取り組みについて～
F-10-5	矢野広宣	理学療法士	鳴門山上病院	長期療養高齢患者の栄養状態が運動機能に及ぼす影響
F-10-6	坂口博紀	理学療法士	平成病院	療養病棟からの在宅復帰 —在宅復帰強化加算への取り組みにおける考察—